令和４年度学校経営方針

１ 教育目標

『ふるさとを愛し、夢や希望をもち学び続ける児童の育成』

目指す児童像

『ふるさと胡麻に愛着をもって自ら学ぼうとする胡麻っ子』

２ 経営方針

地域の方々とビジョンを共有しつつ、地域社会総がかりの教育を実践していく地域とともにある学校づくりをベースにしながら、学校および学校運営協議会を核とした協働の取組と地域道徳の創意ある推進によって、ふるさと胡麻の将来を担う人材を育てるとともに、信頼ある学校づくりの重要な要素である教職員の教師力の向上を目指した取組を重点化する。

そのために、地域・保護者・全教職員による協働体制で、次の５点を基本的な方針として教育活動を推進する。

⑴ 人権教育の推進

人権教育を基盤として、人との関わり合いを深め、日々の授業を通して、一人一人のよさを生かし、支え合い高まり合う教育活動を推進する。また、新型コロナウイルス感染症にかかる科学的な認識を深めた人権教育の推進に努める。

⑵ 学力向上と指導力向上

協働的な学びを大切にした授業改善を進め、児童のコミュニケーション力や非認知能力を高めるとともに、思考力、判断力、表現力等の向上を図る。

⑶ 地域とともにある学校づくりの推進

地域社会総がかりの教育を進める。ともに子どもを育てるという立場から、地域・家庭の思いや願いを教育課程に取り入れ、地域とともにある落ち着いた学校づくりを進める。

⑷ 地域道徳・親子道徳の実践化

地域の大人も子どもも地域道徳を通じてふるさとへの思いが、さらに膨らみ地域のよさを大切にしていこうとする思いを共有できるような取組を推進し、「考え議論する」地域道徳を推進する。

（５）withコロナ時代の対応

新しい生活様式の徹底した定着を図ることはもちろん、地域の感染状況等を踏まえつつ、関係機関と連携しながら学習内容や活動内容を工夫して授業等を可能な限り行い、子ども達の豊かな学びと地域の方とのつながりを大切にした育ちに努める。